

一般社団法人 沖縄ダルク

沖縄ダルクからのメッセージ

OKINAWA DARC NEWSLETTER



VOL.232

SUMMER 2026 夏号
第232号/2026年8月発行
定価100円(会費を含む)



編集:一般社団法人沖縄ダルク
多機能型事業所サントゥアリオ
沖縄県宜野湾市大謝名
2-2-10 ABS大謝名ビル4F

QSK

発行:九州障害者定期刊行物物協会
福岡県福岡市東区
社領1丁目12番4号

MESSAGE

回復は、つながりの中で

梅雨が明け、沖縄には夏の日差しがまぶしい季節となりました。日頃より沖縄ダルクの活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

依存症は「意志が弱いから」なるものではなく、誰にでも起こりうる病気です。そして、その回復はひとりの力では続きません。同じ痛みをくぐり抜けた仲間と出会い、正直な気持ちを安心して話せる場所があってはじめて、私たちは「今日一日」を積み重ねることができます。

本号では、三陣に分かれて実施した水納島でのリトリートキャンプ、川崎ダルクから研修に来られた仲間の体験談、地域での講演やエイサーを通じた啓発活動、そして家族会のご案内と、日頃のご支援への御礼をお届けします。三日間すべて晴天に恵まれた水納島での時間は、仲間たちが自然の中で心身を整え、つながりを深める何よりの機会となりました。

こうした一つひとつの営みは、地域の皆さまと支援者の方々に支えられて成り立っています。ダルクは今日も、回復を願う誰かのために扉を開けています。どうぞ最後までお読みください。

一般社団法人沖縄ダルク 代表理事 佐藤 和哉

P2-4

水納島プログラム
(リトリートキャンプ)

P5

仲間の体験談

P7

フォーラム告知

P8

献金・献品のお礼
家族会のご案内/月次活動報告

水納島プログラムGroup①



■ 毎年恒例の水納島プログラム。今年は天気に恵まれ、晴天・晴天・晴天。

毎年恒例となっているリトリートキャンプを、今年も水納島で実施しました。大所帯となっている沖縄ダルクでは、参加者が安全に、そしてゆったりとプログラムに取り組めるよう、今年も3つのグループに分かれてキャンプを行いました。離島ならではの自然に囲まれた環境の中で、日常を少し離れ、仲間との交流を深めながら、それぞれが有意義な時間を過ごしました。

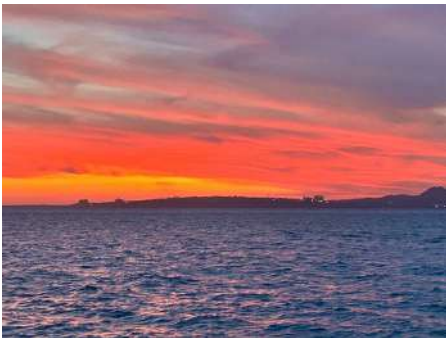
第1陣 Team ゆうき



第2陣 Team ひろ



第3陣 Team ふみ



今回のキャンプは、一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構の2026年度助成事業としてご支援をいただきました。

この助成により、移動や宿泊、さまざまな体験プログラムを充実させることができ、参加者一人ひとりにとって、日常を離れて自然の中で心身を整え、仲間との交流を深める貴重な時間となりました。

このような機会を実現できましたことに、心より感謝申し上げます。今後も、依存症からの回復を支えるための有意義なプログラムづくりに取り組んでまいります。

水納島プログラムGroup②



編集後記

今号の表紙は、抜けるような青空の水納島。「毎年どこかで必ず雨」というジンクスを今年はきれいに裏切り、三日間すべて晴天でした。仲間の日頃の行いの良さでしょうか(笑)。

紙面をつくりながら改めて感じたのは、回復は特別な出来事ではなく、仲間と食卓を囲み、笑い合い、正直な気持ちを分かち合う「当たり前ではない日常」の積み重ねの中にあるということです。研修に来られたそらさんの言葉にも、そのことがまっすぐに綴られていました。

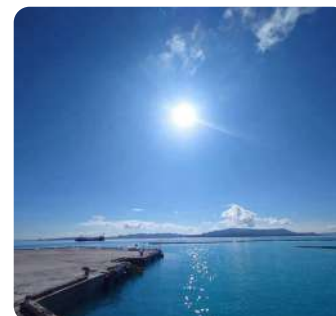
支えてくださった皆さま、ご献金・ご献品をお寄せくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。次号もダルクの「今」をお届けします。

水納島プログラムGroup③



■ 海岸でのミーティング、非日常的な空間で行う分かち合いはまた一味違いますね。

今年は晴れに晴れたといった感じで、見事に1度も雨は降らず快適な離島プログラムとなりました。
年に一度の離島キャンプ、準備などは少し大変ですが普段とは全く違う環境で朝から晩までゆっくりすごせる、いつものプログラムでは味わえない時間の過ごし方ができるのでいつもより仲間の笑顔にたくさん出会えるのがうれしいですね。



仲間の体験談

「沖縄の環境」

川崎ダルク スタッフ
そら

沖縄ダルクのスタッフとして、今回約三ヵ月沖縄ダルクにて研修をさせて頂きました。

デイケアセンター、ナイトケアハウスにメンバーと一緒に過ごさせて頂き、施設はプログラムに参加して、その中で感じた事は、仲間が伸び伸びとありのままの姿で生活しており、仲間同士で助け合い、支え合っている姿でした。自分自身、研修に来る前は緊張していました。しかしメンバーに暖かく迎え入れてもらい、ボランティア活動やミーティング、エイサー練習、仲間と一緒に食事をする事、初めての環境で一緒にプログラムを行っていく中で改めて「仲間」の大切さを学びました。

ステージ制での回復支援を行っている中で、アッパーステージ、ピアメンターステージの先行く仲間が積極的に新しく繋がってきた仲間のサポートや役割を行っている姿を見ながら、仲間が徐々に元気になっていく姿、メンバーが積極的に伸び伸びと回復プログラムに取り組む姿の中で一緒にプログラムに参加させてもらい、自分自身も正直に、ありのままの姿で居させてもらう事が出来ました。

依存症という病気を抱え、孤独になりながらもダルクに繋がり、仲間達の中でシラフで笑い合える事、仲間と自分の問題や今抱えている生きづらさを正直に分ち合える事、当たり前ではない生活が一日一日の中にあり、今現在を生きている実感を改めて感じる事ができました。

研修を終え、川崎Jに戻っても沖縄ダルクの中で自分が感じた、仲間とスタッフの正直に分ち合える関係性、当たり前ではない「今」を仲間と一緒にクリーンの人生を思い切り楽しみたいと思います。

依存症という病気を抱え、孤独になりながらもダルクに繋がり、仲間達の中でソーシャルワークに取り組み、自分自身も変化を感じる事が出来ました。

現在を生きている実感を改めて感じる事が出来ました。

研修を終え、川崎Jに戻って歩み続ける中で自分が感じた、仲間とスタッフの正直な関わり合える関係性、当たり前ではない「今」を仲間と一緒にクリーンの人生を思い切り楽しみたいと思います。

三ヶ月間、本当にありがとうございました。

また色々な場所で会える事を楽しみにしています。



講演活動

「薬物から青少年を守るうるま市総決起大会」で講演活動

薬物依存症は「意思の弱さ」ではなく、適切な支援が必要な病気であるということや、近年の若年層を取り巻く薬物問題の現状について講演を行いました。



エイサー演舞

「地域の福祉運動」や「県内の学校」に呼んで頂きエイサー披露

- ・第76回「社会を明るくする運動」
- ・沖縄県立嘉手納高校
- ・ノートルダム女学院小学校
- ・アビリンピックおきなわ2026
(第26回沖縄県障害者技能競技大会)



第32回

沖縄ダルクフォーラム

歩み～回復をつないで32年～

2027

開催日：11月25日(水) 10:00～16:30

会場：てんぶす那覇

住所：沖縄県那覇市牧志3丁目-2-10
てんぶす那覇2階

家族会のご案内

ひとりで抱えないでください。

依存症は、本人だけでなく家族も深く巻き込む病気です。「私の育て方が悪かったのか」「どこまで助けて、どこから突き放せばいいのか」——その悩みを安心して話せる場所が、家族会です。同じ経験を持つ家族同士だからこそ、分かり合えることがあります。



● 沖縄ダルク家族会(定例会)

日時	毎月第2土曜日 13:30~16:00
会場	一般社団法人沖縄ダルク
参加費	無料
対象	ご家族・パートナー・ご友人
申込み	予約不要／匿名参加可
連絡先	TEL 098-943-8774

※ ご本人がダルクを利用していない方も参加できます。話したくないことを無理に話す必要はありません。

「家族会で初めて『うちも本当に大変でしたよ。』とってもらえた日、自分だけではなかったんだと知り、安心した途端、涙を流してしまいました。今は月に一度、ここに来ることが私にとっての回復の時間です。」

参加者の方からのお話

献金・献品のお礼

2026年5月1日から7月31日までの間に、多くの皆さまから温かいご献金・ご献品を賜りました。
皆さまのご支援は、仲間たちのプログラムの運営、回復の場を守るために大切にさせていただいております。
ここに芳名を記し、心より御礼申し上げます。(順不同)

● ご献金をお寄せくださった皆さま

長久保江世 様	沖縄歯科器材 様	玉城志保 様	宜野座哲 様
小野里欣子 様	小野里 篤美 様	坂本純子 様	江原二郎 様
ヒューバー和恵 様	中村綾子 様	中村澄子 様	弁護士 寺田明宏 様
伊芸晋作 様	Kamekawa Isaku様	Osawa Keita様	Suzuki Eri様
Takai Teruo様	北中バプテスト教会 様	加藤郁男 様	玉城順子 様
与那原第2修道院 様	読谷村更生保護女性会 様	沖縄家族会 様	ノートルダム学院小学校 様
中南部保護区社会を明るくする運動推進委員会 様	蔵根尚美 様	大嶺陽子 様	
モリタ タダユキ 様	与那原第1修道院 様	宗教法人聖マリア 様	

● ご献品をお寄せくださった皆さま

鶏八亭 様	沖縄国際大学 片本先生 様	沖縄国際大学 荻野先生 様	フェアネス美里 様
家族会 様	みのり 上原 様	めいみ 様	高山竜二 様
読谷村更生保護女性会 様	ノートルダム学院小学校 様	與古田なおみ 様	川崎DARC 様
Fellow coffee 様	玄米とコーヒーの店 様	比嘉 様	八鍬元博 様
恩納村更生保護女性会 様	嘉手納町更生保護女性会 様	中部保護司会 様	山梨DARC 様
佐賀DARC 様	高居美穂 様	井邊郁美 様	中南部保護区社会を明るくする運動推進委員会 様

このほか、匿名にて複数の方からご献金をいただきました。お名前は掲載を控えさせていただきますが、深く感謝申し上げます。

● お振込先のご案内

ゆうちょ銀行 記号 17040 番号 12632141	琉球銀行 大謝名支店
店番:708 普通:1263214	口座名義:沖縄ダルクを支援する会
店名:七〇八(ナナゼロハチ)	店番:508 普通:485858